

鳳陽

第184号

令和7年5月1日

発行所 一般社団法人 鳳陽会

(山口大学経済学部同窓会)

〒753-0089 山口市亀山町3-1

TEL・FAX (083) 924-4361

E-mail: houyou99@crocus.ocn.ne.jp

印刷所 株式会社マルニ

——開学の祖「上田鳳陽」先生(1769～1853)の教えを汲み——

第95回 通常総会

～首都・東京で

お会いしましょう～



都心にすっとそびえる東京タワー

(撮影: 学23 塩塚 保)

東京支部長
塩塚 保 (学23)

全国の鳳陽会の皆さまお元気ですか。

第95回鳳陽会通常総会が5月24日、東京・アルカディア市ヶ谷(私学会館)で開催されます。北海道から九州まで全国の同窓生の方々とお会いするのを楽しみにしております。

◇山大経済の誇り

私たちは山口大学経済学部を卒業しました。山口大学の源流は、江戸時代に長州藩士、上田鳳陽先生が開設した山口講堂です。200年を越す伝統を誇っています。同窓会の名称は鳳陽先生の号を冠しているのです。

明治時代、鳳陽先生の教えを受け継ぎ、土魂商才を掲げる山口高商が山口市・亀山の麓に建学されました。東京高商(二橋大学)、神戸高商(神戸大学)に次ぐ全国3番目の官立高商(高等商業学校)でした。

戦後、山口高商は山口大学経済学部となりました。若い学生たちは明治維新の策源地、山口で多感な青春時代を謳歌。社会に進出していきます。多くの同窓生が全国、そして世界で活

躍しているのです。

◇鳳陽寮の青春

私は1970年に入学しました。亀山の麓には山口高商の伝統を受け継ぐ格調高い本館と講堂が健在でした。亀山には白く、美しいザビエルの塔が建ち、清らかな鐘の音が響き渡っていたのです。

私は鳳陽寮に入寮しました。鳳陽寮は南、中、西、北、そして西北の5寮の連合体でした。それぞれに寮長がいて独自の寮歌があり、ストームの流儀も異なるのです。

蜜カラの気風が色濃く残っていました。一の坂川沿いの惣野旅館でコンパを盛大にやります。意気揚々と帰寮。ストームをかけるのです。

寮生たちは読書、議論、麻雀、睡眠を中断。各寮の前に整列してストームの一行を待ち構えます。それぞれの寮歌を歌い、肩を組んで山都逍遙歌を歌うのです。

寮祭では自分たちで樽神輿を組み上げました。樽神輿を担ぎ、道場門前を練り歩きます。市民は笑顔で大きな拍手。あの時代、学生は確かに山口市民に愛されていたと思います。

寮祭の夜、焚き火の周りに寮生全員が集まってきました。5寮の寮歌を歌います。そして最後に肩を組み、全員で山都逍遙歌を歌うのです。若い歌声

行事予定

○令和7年5月24日(土)

第95回 通常総会

於 アルカディア市ヶ谷 私学会館(千代田区九段北)

(ご案内は2頁に記載)

が鴻の峰に響き渡って行きました。

鳳陽寮は姿を消しましたが、山大経済の学生たちは美しい山都・山口で多感な青春時代を今も謳歌しています。

◆東京支部の活性化

さて、東京支部は会員約1100人です。東京タワーを望む港区三田のマンションの一室に事務所を構えて同窓会活動を展開。鳳陽会の大きな拠点のひとつとなっています。

年に1度の支部総会や長州ゆかりの地を巡る長州歴史ウォーク、同窓生の講話を聞き、酒を酌み交わすセミナー、新年会などを企画しています。今年の新年会には新社会人や30代の起業家、女性会員が参加。新しい風を感じました。

また、有志が日本寮歌祭に出場。伝統の鳳陽寮寮歌を歌い継いでいます。

東京支部のホームページは同窓会活動の新たな軸となっています。同窓生たちが次々に投稿。東京支部だけでなく岡山支部、宇部・山陽小野田支部などからも投稿が寄せられています。皆様の投稿を歓迎します。

アクセス件数は好調です。鳳陽会だけでなく山大各学部や他の大学同窓生も閲覧しています。

◆鳳陽先生のご子孫

鳳陽先生のご子孫は明治時代まで山口高商の式典に臨席していたそうです。ところが、ご子孫が山口の地を離れたため、長い間、交流が途絶えていました。

最近、首都圏在住のご子孫が東京支部のホームページにメールを送信したことをきっかけに交流が復活しました。昨年6月に開催された東京支部総会に上田慶太氏が出席。壇上であいさつしていただきました。これからご縁を大切にしたいと考えています。

◆総会成功に向けて

東京支部は鳳陽会通常総会・懇親会の成功に向けて昨年からの準備を進めています。幹部会、常任幹事会、そして中堅・若手会が重層的に会合を重ねています。

総会は土曜日に開催されます。翌日曜日、花の東京を満喫されてみてはいかがでしょうか。都心には新しい高層ビルが次々と建築されています。その一方で江戸時代の面影を残す寺社や

下町も魅力的です。美術館巡りも素敵ですよ。

懇親会は円卓、着席で行います。和食の大皿料理とおいしい飲み物を用意します。美酒を酌み交わし、青春時代を語り合いたしましょう。東京支部名物のじゃんけん大会も盛大に行います。勝って山口の高級銘酒を獲得してください。

そして山口大学学生歌、鳳陽寮寮歌、最後に山都追遙歌・・・肩を組み、熱き血潮のおもむくまま、大いに歌おうではありませんか。

東京支部長

塩塚 保学23期

鳳陽会東京支部へ友達登録をしてみませんか？

LINEの友達登録ができるQRコードを作りました。
ホームページ掲載の最新トピックスがお手元に届きます。

◆操作手順

- ・LINEアプリを起動しQRコードの読み込み
- ・友達「追加」のボタンをタップ
- ・氏名と卒業年をお忘れなく



一般社団法人 鳳陽会 第95回 通常総会

一般社団法人鳳陽会の第95回通常総会を次のとおり開催します。同封の葉書へ所要事項を記入の上、個人情報保護シールを貼って5月16日(金) 必着でご返送ください。また、葉書が届いた方で欠席される場合は、「委任状」に所要事項を記入して押印の上、個人情報保護シールを貼って、5月16日(金) 必着でご返送ください。総会の定足数1/4を充足するため、委任状は必ずご返送ください。

なお、通常総会で議決権のある正会員(年会費納入会員及び賛助会費納入会員)の方のみ、葉書を同封しています。悪しからず、ご了承ください。また、葉書を同封していない方で出席を希望される方は、鳳陽会東京支部または本部事務局までご連絡ください。

記

- 日 時：令和7年5月24日(土)
 - ・総会 16:00～17:00
 - ・懇親会 17:00～19:00
- 会 場：アルカディア市ヶ谷 私学会館
(東京都千代田区九段北4丁目2番25号)
- 会 費：1万円(大学60期以降の会員は5千円)
- 議 題：【決議事項】(詳細は12～15頁)
 - ・第1号議案 令和6年度決算報告
 - ・第2号議案 役員の選任【報告事項】
 - ・令和6年度事業報告、公益目的支出計画実施報告
 - ・令和7年度事業計画及び収支予算

*当日は、クールビズでご出席ください。

*令和8年の第96回通常総会は大阪で開催の予定です。



- JR中央線(各駅停車)市ヶ谷駅から徒歩2分
- 地下鉄 有楽町線・南北線 市ヶ谷駅(A1-1)出口から徒歩2分
- 地下鉄 新宿線 市ヶ谷駅(A1-1・A4)出口から徒歩2分

学園だより

在学生4名・卒業生2名

論文試験合格

職業会計人コース委員会 藤田 智丈

令和6年(2024年)11月15日に金融庁より公認会計士論文式試験の合格発表があり、職業会計人コースの4年生松田君と渡邊君、3年生野崎君の3名、そして企業法務コースの4年生松本君が合格しました。また、卒業生からも2名が合格し、合計6名となりました。全国での合格者は1,603人、合格率は7.4%という狭き門を見事にくぐり

抜けてくれました。経済学部では、職業会計人コースを長年引継ぎつてきた山下先生が令和5年度末に定年を迎えられました。職会コースは20年ほど前に設置され、最初は会計士免許を持つ吉水先生が委員長となり、職会コースの基礎が作られました。吉水先生のご退職後は、山下先生が委員長として長きにわたって職会コースを運営し、多くの合格者を輩出することができました。令和5年度までで会計士に71名、税理士に18名、税理士の科目合格に86名、日商簿記一級に211名が合格しています。これは吉水・山下両先生のご尽力と、職会自習室の整備や柳上奨学金の給付など、多大なご支援をくださった鳳陽会の皆様方のおかげです。この場をお借りして厚く感謝申し上げます。



谷澤学長との懇談

す。

令和6年度から職会コースは会計学教員全員による集団運営体制になりました。以前の受験勉強は課外活動として学生の自主性に委ねる面が強かったですが、今は学生一人一人に面談担当の教員がつき、個別フォローを始めています。また、大原学園による会計実習も学生が教室に集まって受講する形態になり、お互いに切磋琢磨する環境ができつつあります。

職会コースは理論を学ぶだけではなく、使える知識を身につける場として、社会で活躍できる会計士や税理士、簿記一級合格者といった高度な職業会計人を育成することを目的にしています。

このコースには監査法人や税理士法人からリクルートの来客があります。鳳陽会のご支援で整備された職会自習室を見学すると、いつも驚かれます。このような勉強環境が整っている大学はかなり珍しいそうです。

このように、ソフト面、ハード面ともに他に無い特色を持つ職会コースは、これからも学生の力を最大限発揮させられるよう活動してまいります。今後も鳳陽会の皆様からのご指導ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

私は商業高校出身であり、簿記自体には高校から関わっていましたが、高校時代に取り組んでいた部活動も含めて、自身の努力量においては自信があったものの結果を残せず、なかなか報われない高校生活を送ってきました。そこで、己の努力に対する自信を試し、結果を残すことで、報われなかった過去のコンプレックスを乗り越え「努力は報われる」と胸を張って言える人間になりたい、そして失敗から得た悔しさを原動力として、公認会計士試験に身を投じました。また、高校まで支えてくれた両親に対して、資格という客観的な成果を得た姿を見せることで恩返しになると思ったのもこの試験に挑んだ理由の一つです。

私は報われなかった過去を乗り越えるという決意から、努力では誰にも負けないう意思を自分の胸に刻み、約一年半走り続けました。その結果、合格という形で努力が実を結び、見事に「努力は報われる」ということを自ら証明しました。自分の過去は無駄ではなかったと実感でき、過去のコンプレックスを乗り越えられた気がしました。しかし、合格までの過程は決して甘くなく、険しい道のりでした。

試験合格のご報告

3年 野崎大

この度、令和6年度公認会計士論文式試験に合格しましたことをご報告させていただきます。この試験に合格できたのも、家族や受験する中で出来た仲間、大学や予備校の講師の方々、大学の事務職員の方々、高校までお世話になった先生や部活動の顧問の方々、そして鳳陽会の皆様からの教育や精神的なサポート、経済的な支援があつてこそのもです。合格発表が終わってから様々な方からお祝いのお言葉をいただく中で感じました。未だその恩を返し切れていないと思う部分をありますが、この場を借りてお礼申し上げます。誠にありがとうございます。

その中でも私が苦痛に感じたことは、一次試験である短答式試験までは一匹狼の状態が続き、孤独感を強く感じていたことです。公認会計士講座が始まった当初は同期も複数おり、勉強の疑問点や日々のストレスを共有できる存在がいたことから、なんとなく安心感がありました。しかし半年もすると、共に勉強するはずだった仲間は自習室から姿を消していき、私も個人ごとにスペースが設けられた部屋を使うようになりました。そこから短答式試験を受けるまでの間は、水



合格した在学生4名の皆さん

中で永遠に息を止めながら見えないゴールを目指して泳いでいるような感覚でとても辛かったことを覚えています。

一方、短答式試験を乗り越えたと論文式試験が待ち構えており、そこには私と共に喜びや苦しみを共有できる先輩の存在がありました。私は初めてそこで受験仲間の存在の大きさを知り、短答式試験受験期に抱えていた苦しさから解放された感覚になりました。それからはその先輩方と自習室に通い、稀に休憩時間が重なれば会話するという日々を送り、頼れる仲間がいるという安心感をもって論文式試験まで走り切ることができました。

私は職業会計人コースにおいて、同期というヨコの繋がりはあまり築くことができなかったものの、先輩や私の姿を見て慕ってくれる後輩というタテの繋がりに気付くことができ、その「人との繋がりが」が合格のための要素の一つだったと感じています。

職業会計人コースには、そのような「人との繋がりが」を横方向だけでなく縦方向

にも築く場があり、公認会計士受験生が抱える「孤独感」という問題を解決できると考えています。また、講師や職員の方に真摯にサポートしていただき、私の受験生活は非常に充実したものであったと感じています。このような環境を作ってくださった鳳陽会の皆様には大変感謝しております。重ねて御礼申し上げます。

○4年 松田大輝

私は、経済学部で1年次の12月より公認会計士試験の勉強を始め、令和6年度公認会計士試験に合格することができました。これまで指導くださいました先生方や支援してくれた両親、鳳陽会の皆様に感謝申し上げます。

私は、高校時代から簿記の勉強を始め、公認会計士になるために本大学の経済学部に入りました。公認会計士試験は、内容が専門的で、且つ、その範囲も広く、最初の頃はその勉強の進め方が定まらず、公認会計士

試験への挑戦を諦めることを考えた時期もありました。それでも、同じく試験合格を目指す友人や先生方の助けを借りながら、勉強の方法を改善しつつ試験勉強に励むことで理解が深まり、確かに実力がついていくのを感じました。

勉強にあたり、本試験に合格するため私は3つのことを意識していました。

1つ目に、完璧を目指さないことです。本試験は内容が専門的で、且つ、範囲が幅広いので、すべてを完璧に理解し覚えることは困難です。また、試験の範囲にはほとんど問われないものであったり、出題されても正答しにくかったりするものもあります。そこで私は、重要性に合わせてどの程度勉強するかを決め、多少分らないところがあっても勉強を進めることを意識しました。

2つ目に、分からないところはあまり考えず、できるだけ早く講師に質問することです。職業会計人コースと提携している資格の大学には、分からないところを講師に質問することができるサービスがあります。

私は、時間の節約のため、分からないところは早めに質問することを心掛けていました。

3つ目に、最後まで諦めないことです。私が受験した令和6年度の論文式試験の1日目の科目「監査論」は、第2問の問題がかなり難しく、自信をもって答えることのできる箇所が少ないものでした。それでも「自分ができるものは、他の人にもできない」と割り切り、とにかく諦めずに全力を出すことを意識しました。本試験の科目の1つの結果が振るわなくとも、他の科目でカバーできることもあります。本試験時には、終わった科目のことは振り返らずに前を向くことが大事だと思います。

本学の職業会計人コースは、公認会計士試験の勉強を支援するサービスが充実しており、在学中合格を目指すことのできるコースであると思っています。これから公認会計士試験の合格を目指す皆さんは、コースの先生方を信じて頑張ってくださいと思います。

○4年 渡邊大智

この度、令和6年度公認会計士試験に合格しましたことをご報告させていただきます。合格発表後、家族をはじめ、周りの友人やお世話になった先生方などに、数多くの祝福の言葉をいただき、改めて私だけの力でこの試験に合格したわけではないと強く感じました。この場を借りて、私を支えてくださった数多くの方々にお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

私は、高校の普通科を卒業して山口大学に入学したので、簿記や会計学に初めて触れたのは大学1年生の頃でした。学習の初期の段階では、簿記に慣れるまでに多くの時間がかかってしまいましたが、根気よく簿記に向き合うことで2021年の11月に日商簿記検定試験2級を取得することが出来ました。

同年12月には会計士試験の講座が始まり、本格的に会計士試験の受験勉強を開始しました。2年半続いた受験時代を振り返って、精神的にも身体的にも大変だったのは、論文式試験直前の2024年7月下旬か

ら試験が終わる8月18日までの約1か月です。一通りインプットが終わわり、論文答練が全て終了するのが7月下旬頃なのですが、その時期を過ぎると、ただひたすら覚えた内容の確認作業に入ります。試験に対する漠然とした不安と、毎日変わらない日々を過ごすことに対する極度のストレス、また「ここで不合格だったら支えてくれた家族や友人に合わせる顔がない」というプレッシャーに押しつぶされそうになり、何度も逃げ出したくなりました。今思えばこの時、逃げ出さずに机に向かい続けて良かったと痛感しています。しんどい時期に歯を食いしばって、耐えることができたのも会計士になりたいという強い意志があったからこそだと思います。

山口大学には職業会計人コースというコースがあり、そこで境遇を同じくする仲間が数多くいます。勉強に行き詰まった時や、悩みごとがあるときには、その悩みを共有できるという良さがありません。その点で言えば、私は山口大学という場で受験勉強をすることが出

来てとても良かったと思っています。

職業会計人コースでは、志を同じくする学生がいるという良さだけでなく、様々なサポート体制が整備されているという良さもあります。こうした学習環境が整っているのも山大的OBの方々のおかげです。重ねてにはなりますが、様々なご支援をしていただいたこと、お礼申し上げます。誠にありがとうございます。

〇4年 松本武尊

〔企業法務コース〕

私は大学在学中に公認会計士試験に合格することができました。ここでは、私が公認会計士を目指した経緯や試験合格までの道のりについて述べていきます。

私が公認会計士を目指すという考えたのは大学2年生の3月頃です。その時点で私は簿記一・三級に合格していました。簿記三級は必修科目である「簿記」の大学の講義を受けて取得しましたが、簿記二級と一級は、合格すれば単位認定が受けられること（二級は8単位、一級は条件付きで2単位、

就職活動を有利に進められること等を理由に取得しました。簿記一級合格後、公認会計士の収入や社会の重要なインフラである会計や監査の分野に携わる会計士の仕事の魅力に惹かれ、会計士を目指すことにしました。

山口大学では、会計士試験に合格するための手段がいくつかあり、その一つは職業会計人コースに所属することです。また、山口大学と提携している大原の会計士講座の受講や、CPA会計学院などの他の予備校の会計士講座を受講するという手段もあります。

私の場合は、会計士を目指した時期や金銭的な理由などから、他の予備校の講座（クレアール）を受講して、その後、約一年半、独学で勉強を続け、大学4年生の時に合格しました。

試験合格を目指して、勉強漬けの毎日でも大変でしたが、合格した後の達成感や就職先での待遇などを考えると、本当に勉強してよかったと思っています。もし、会計士試験に挑戦してみたいと思っていただけなら、是非挑戦してみてく

ださい。ただし、会計士試験は試験範囲が膨大で長期戦になります。いきなり会計士試験に挑戦するのが怖いという方は、まずは簿記一・二級の勉強をしてみるの

がよいかと思います。以下は特に会計士試験に挑戦してみたいと思った方に向けて、あくまでも参考です。

現在の会計士試験受験業界は大きく変化しています。今まではTACや大原が合格者の大半を占めていましたが、現在はCPA会計学院（以下、CPAと略します）という予備校出身者が合格者の60%を占めるようになりました。こま

で、CPAが伸びてきたのは、CPAの教材や講義の質の良さ、優秀な講師陣（気になる方はYouTubeで「CPAカレッジ」と調べてください。植田先生という面白い方が出てきます。）、学習相談体制の充実、受講生交流会を全国で開催しているなど様々な理由が挙げられます。ただ、CPAが強いとはいえ、TACや大原などの予備校でもそれぞれ強みがあり、また合格者がいます。それぞれの予備校の

強み・弱みを考えて、どの予備校で勉強をするのかを決めるのがよいかと思っています。ただし、心に留めていただきたいことは、どの手段を選んだとしても勉強することから絶対に逃れられないということです。

長い文章でしたが、ここまで読んで下さり、誠にありがとうございます。私が合格できたのは、櫻庭先生をはじめとする山口大学の教職員の方々の支援があったからです。心より感謝申し上げます。また、私の文章を読んで下さった方が様々な分野で成功されることを心から祈っております。



人生を楽しむ モビリティライフグループ

Mobility Lifeを通じてお客様の豊かな人生「Quality of Life」の実現を社員一丸となって努めてまいります。



MLG 株式会社
山口日産自動車株式会社
山口スズキ株式会社
アウディ山口
ボルシェセンター山口

ルノー山口
アルピニス山口
とく蔵文庫
日産部品販売株式会社
トータルカーサービス株式会社

代表取締役会長 末富 喜昭 (学19期)

〒753-0251 山口市大内千坊6丁目2番1号

TEL.083-922-2200(代) フリーダイヤル 0120-008923

詳しくはwebにて

歴史と文化の山口県に軸足を置いて 公益活動を展開する山口県人ゆかりの会

講演会活動、奨学金貸与、教育・文化研究活動、
先賢遺徳顕彰事業

公益財団法人 防長倶楽部

理事長 沖原 隆宗 (柳井市出身)

顧問 村岡 嗣政 (山口県知事)

会員 松永 昭博 (鳳陽会理事長)

〒108-0074 東京都港区高輪3-25-23 京急第2ビル

Tel.03-3445-9111 Fax.03-3445-9122

URL: <http://www.bochoclub.com>

E-mail: kouzai@bochoclub.com

—入会をお待ちしております—

山口大学卒業式

令和7年3月21日(金)、令和6年度の山口大学大学院修了式・山口大学卒業式が山口市維新百年記念公園にある維新大晃アリーナで開催され、9学部の新卒生1,841人(うち経済学部316人と大学院6研究科の474人(うち経済学研究科12人)、合わせて2,315人が新たなステージへの第一歩を踏み出しました。



会場に集まる卒業生

「晴れて本日の卒業を迎えるまでには、新型コロナウイルスの影響に限らず、多くの困難に遭遇し、それ乗り越えてこられたことと思います。これらは今となつては全て良い思い出となり、また、将来への自信につながつてゆくと確信しています。」との言葉がありました。

また、「皆さん、一人一人が絶え間ない変化、進歩に柔軟に、力強く対応し、その時代を切り開いていける『しなやかな人材』として、自身と家族の未来を、地域日本、そして世界の未来を担い、切り開いていってください。これを期待しています。」という、はなむけの言葉がありました。

学長挨拶の後、同窓会会長の挨拶があり、山口大学混声合唱団による山口大学の学生歌等の斉唱を挟んで、在学生代表、修了生代表の挨拶と続きました。

その後、卒業生を代表して、経済学部の栗栖世津子さんから「急速に社会が変化しているこのような時代にあつて、現代社会が直面する課題に対し、山口大学での学びと経験が、それぞれの道で託された使命を果たす拠り所となることを確信しています。この4年間は掛替えのない財産になりました。ここで学んだ誇りと、お世話になった皆様への感謝を胸に、広く社会に貢献していく所存です。」との決意の言葉がありました。

最後に、学業や課外活動で優秀な成績を収めた卒業生、修了生に対して、山口大学長表彰が行われ、予定されていた行事は滞りなく、全て執り行われ、式典は終了しました。

山口大学経済学部の卒業式関連行事

午前中の山口大学大学院修了式・山口大学卒業式に引き続き、午後2時から、経済学部第一会議室で、経済学部長表彰式が開催されました。学業及び課外活動で優秀な成績を修めた卒業生に有村貞則経済学部長が表彰状、また、松永昭博鳳陽会理事長から副賞をそれぞれ授与しました。

午後3時からは、経済学部の第二大講義室で、有村貞則経済学部長、松永昭博鳳陽会理事長の挨拶がありました。

有村貞則経済学部長からは、「本日が終わりではなく、社会人になつてからも学び続けてください。時代が大きく変化の中で、社会という実践の場で学び続けないうと優位性は保てません。継続して勉強してください。また、大学時代に築いた友人、人間関係を大切にしてください。人生で困難に遭遇した時、その困難を乗り越えるための支えとなつてくれるのは、利害関係のないこうした人間関係です。同窓会との繋がりも是非持つてください。そして、健康に留意して頑張ってください。」との励ましの言葉がありました。

松永昭博理事長からは、「皆さんは、本日をもって鳳陽会の会員となられる。そして、これからは、社会に出て全て自己責任でやっていく必要があります。先ずは自分が山口大学経済学部を卒業したという自覚を今一度持つていただきたい。また、「考えるという習慣を身に付けてください。アメリカの大統領が変わつただけで、世界は大きく変化している。世界各地で戦乱が起こっている。こうした激動の



松永理事長からの挨拶



柳上奨学金報告会に参加した皆さん

り、卒業後、会計事務所に勤務しながら勉強を続けて、職業会計人を目指す人、あるいは金融機関に就職し、これまで勉強をして来たことを活かしたいという人など、一人一人が報告を行いました。

午後3時30分からは、経済学部D棟1階で柳上奨学金報告会がありました。令和4年度に柳上奨学金を受給した卒業生15人のうち、出席可能な11人が出席し、柳上奨学金、鳳陽会に対する感謝の気持ちを表すとともに、卒業後の進路等についての報告がありました。既に公認会計士試験に合格しており、卒業後は監査法人に勤務する人、あるいは簿記一級試験に合格してお

午後4時30分からは、第一学生食堂「ポー」で謝恩会が開催されました。山口大学経済学部学生ゼミナール連合会が主催したもので、新型コロナウイルスの感染拡大のため、しばらく開催されておらず、久しぶりの開催となりました。鳳陽会からも理事会に出席するため、来山していた役員が出席して、卒業生との交流を深めました。

退職に際して

経済学科 馬田哲次

今年3月31日に退職した馬田哲次です。

山本英太郎先生の後任として1988年4月に経済変動論(4単位)担当専任講師として着任しました。近代経済学史(2単位)も担当できないかということ、数年間教えたこともありま

す。その後、カリキュラム改革のため担当した科目は、演習、外国書講読以外では、マクロ経済学Ⅰ(4単位)、マクロ経済学Ⅱ(2単位)、景気循環論(2単位)、経済成長論(2単位)、数理経済学(2単位)、経済数学Ⅰ(2単位)となります。

マクロ経済学Ⅰは基盤科目で必修なので、受講者も多いですが、他の科目は数学をよく使うので履修者数は少ないです。それでも数学が好きな学生さんは一定数はいらるようで、単位を取るうえで楽ではない科目にもかかわらず熱心に受講して下さる学生さんを見ることが多くあります。新型コロナウイルスをきっかけに

数学を多用する授業のやり方が、がらりと変わりました。それまでは、授業中に講義の内容を詳しく説明していましたが、講義資料を事前に就学支援システムにアップロードし、授業中の説明は最小限にして、問題演習を中心に行いました。学生さんにとっては、よりハードになったと思いますが、アクティブラーニングが推奨されていますし、この方が力をつくと思います。

英語は得意ではないのですが、英語を苦手とする学生さんが少なからずいて、TOEIC400点が卒業要件になっているので、英語の補講をやらせてもらっています。英語の専門家でもないのに、自由にやらせてもらってありがたいと思います。英文法と語彙が英語の上達のためには重要です。地道にコツコツやれば誰でも英語は出来るようになりますと思いますが、苦手で嫌いな科目をやり続けるのは難しいので、楽しくできないかと模索しています。

AIや自動翻訳機が発達しても、コミュニケーションは言葉だけではないので、直接英語を話してコミュニケーションする重要性がなくなることはないし、日本の人口は縮小し、マーケットも縮小するので今後も英語の重要性は高まると思っています。

2002年に経済学研究科で公共管理コースが出来て以来、それにかわり続けています。授業科目や修士論文も全て英語という特色のあるコースです。当初バンングラデシュからのJD S奨学生2名から始まったコースです。

(JDS:人材育成支援無償事業 Japanese Grant Aid for Human Resource Development Scholarship(略))

たった2名であっても修了するための授業科目をそろえなければならぬので、当初は批判も多かったと記憶していますが、JDS奨学生の受け入れ国もラオス、ネパールと増え、JDS奨学生以外にもインドネシア、フィリピン、ケニア、タンザニア等様々な国からJICAの他の奨学金や国費の留学生を受け入れ、経済学研究科の中核的なコースとして育ってきたので、方向性としては正しかった

のだらうと思います。鳳陽会さんとかかわりで思い出すのは、副学部長をやらせていただいたときに、宇部支部と宮崎支部の集まりに出席させてもらったことです。初対面の人が殆どでしたが、多くの卒業生の方々と楽しく話をできたのはいい思い出になっています。



経済学研究科

今年3月で定年退職しましたが、特命教授として、もうしばらく経済学部で働かせてもらう予定です。最後になりましたが、山口大学経済学部と鳳陽会の発展と皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。ありがとうございます。

本誌への広告のお願い

事務局では、皆様方からの会報「鳳陽」への広告掲載の申し込みを募集しております。

広告是一回のみの掲載から、通年(年3回発行)等の掲載が可能です。また、主なサイズ、料金は下記のとおりです。

詳細については、事務局へお問い合わせください。

- ★1/3頁(横182mm×縦86mm) 40,000円
- ★1/6頁(横90mm×縦86mm) 20,000円
- ★1/9頁(横58mm×縦86mm) 15,000円
- ★名刺版(横58mm×縦42mm) 5,000円

KOSAIDO GROUP
KOSAIDO NEXT

印刷

WEBサイト制作

事務局運営

etc..

多角的なソリューションで
最適なコミュニケーションを設計する

広済堂ネクストは、印刷、IT、D2Cビジネス支援、BPOなどを
効果的に組み合わせ、お客さまのニーズに合わせた
最適なソリューションを提供いたします。

【お問い合わせ】

株式会社広済堂ネクスト

〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋4-1-1 興銀ビル2F

TEL 06-7178-0530

<https://www.kosaido-next.co.jp/>

祝 御卒業・御入学

(経済学部からのデータに拠る)

令和6年度卒業生就職状況

※令和7年3月31日現在

業 種	男	女
農 業、林 業	0	0
漁 業	0	0
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0
建 設 業	9	2
製 造 業	22	7
電気・ガス・熱供給・水道業	3	2
情 報 通 信 業	20	13
運 輸 業、郵 便 業	4	2
卸 売・小 売 業	14	12
金 融・保 険 業	36	22
不動産・物品賃貸業	10	9
学術研究、専門・技術サービス業	20	5
宿泊業、飲食サービス業	0	3
生活関連サービス業、娯楽業	1	2
教育・学習支援業	4	3
医 療・福 祉	3	2
複 合 サ ー ビ ス 業	2	1
サ ー ビ ス 業	6	9
公 務 員	36	16
そ の 他	0	0
合 計	190	110

*令和6年9月卒業生8名を含む

令和6年度卒業生進路状況

※令和7年3月31日現在

進路状況	男	女
就 職 者	190	110
進 学 者	1	4
そ の 他	11	8
合 計	202	122

*令和6年9月卒業生8名を含む

令和6年度卒業生

【学部】

学科・課程	男	女
経 済 学 科	89	32
経 営 学 科	92	68
観光政策学科	21	22
合 計	202	122

*令和6年9月卒業生8名を含む

令和6年度修了生

【大学院 経済学研究科】

学科・課程	男	女
経 済 学	14[13]	9[8]
企 業 経 営	2[1]	1[0]
合 計	16[14]	10[8]

*令和6年9月修了生14名を含む

*〔 〕は留学生で内数

令和7年度入学者数

	男	女	計
経済学部	218	121	339

学 部 短 信

次のとおり先生の異動をお知らせします。

(敬称略)

退職(令和7年3月31日付)

馬田 哲次 経済学科教授
(山口大学経済学部経済学科
特命教授へ)

新任(令和7年4月1日付)

福井 昭吾 観光政策学科准教授
(西南学院大学経済学部准教授へ)

大岩 隆明 経済学科教授

西山 慶司 経済学科教授
(拓殖大学政経学部教授へ)加藤 真也 観光政策学科准教授
(名城大学経済学部教授へ)石川 剛生 経済学科教授
(立命館アジア太平洋大学
サステイナビリティ観光学部教授から)山本 敬生 経営学科准教授
(鹿児島県立短期大学
第二部商経学科准教授から)

支部だより

神戸支部

世代交代・

新役員体制発足

令和6年12月15日(日)に、場所は毎年恒例の「梅の花元町店」にて、計14名の会員出席のもと、支部総会及び懇親会を開催しました。

この支部総会において、ここ数年間はコロナ禍等により模索を余儀なくされていた支部の新役員が新たに選出され、新体制が発足したことを全国の会員の皆さんへ報告・紹介させていただきました。

新役員体制は、名和田支部長、茅野幹事長、櫻井・山下・水池各幹事、大高監事の錚々たるメンバーで固めることが出来ました。未だ現役としてそれぞれ要職に就いて活躍しておられる皆さんですが、支部の活動にも日常の仕事の傍ら若さを発揮して邁進していただけるよう期待しています。

京阪神三地区の連携を深める観点からご出席の三坂京滋支部長、羽根大阪支部

長からも暖かい祝意を賜わりありがとうございました。

さて、重要な議事後は、懇親会。飲み放題を忘れていたかのように皆が侃々諤々。飲むより語り合う方が優勢のようでした。

この日の出席者の内、所謂「亀山世代」は5名。他の9名は「平川世代」。世代交代がお陰様で順調に進んだことに感謝しています。

年寄りの元氣な内は応援します。平川世代の皆様

の活動により注力していただくよう祈念して止みません。

末筆になりましたが、野口前支部長、26年間の長きに渡り神戸支部長として支部活動をリードしていただき、誠にありがとうございました。



【出席者】(敬称略)

石田宙造(学12)、三坂直彦(学18)、古賀智敏(学19)、野口裕(学21)、上田功学(学21)、羽根彰(学29)、名和田進(学29)、茅野雅昭(学32)、櫻井康人(学36)、太田栄治(学38)、山下尚宏(学44)、大高宏之(学45)、水池早苗(学49)、大裏宙(学52)

(上田 記)

令和7年度 支部総会 開催予定

今年度の支部総会開催予定は下記のとおりです。ぜひご参加ください。

支部からの案内が届いていない方、転勤等で該当支部地域へ転居された方で参加を希望される場合は、支部担当者または鳳陽会事務局へご連絡ください。

支部	日時等
北海道	日 時：令和7年6月開催予定 場 所：梅の花 札幌店 例年7月に開催しておりましたが、インバウンドや学会の開催等で7月はホテルが混雑することがあり、今年は6月に開催を予定しております。
東北	日 時：令和7年7月26日(土) 12:00～ 場 所：閑上浜「浜や」
名古屋	日 時：令和7年5月17日(土) 12:00～ 場 所：アイリス愛知 (TEL：052-223-3751) 連絡先：代表幹事 梶原義昭(学26) TEL：090-8151-6920
京 滋	日 時：令和7年11月8日(土) 12:30～15:00 場 所：都ホテル 京都八条 連絡先：代表幹事 川原章(学19) TEL：090-6660-1093 メール：fgfhp58@gmail.com
大 阪	日 時：令和7年5月31日(土) 12:00～15:00 場 所：シティプラザ大阪 (大阪市中央区本町橋2-31) 連絡先：事務局 徳山博詞(学30) TEL：090-2320-7153 mail：wwhill7.lj@gmail.com
神 戸	日 時：令和7年12月7日(日) 13:30～ 場 所：梅の花 神戸元町店 連絡先：代表幹事 茅野雅昭(学32) TEL：090-1551-7687 mail：mk0120kayachan@docomo.ne.jp
岡 山	日 時：令和7年11月30日(日) 14:30～19:00 14:30～岡山支部総会 15:00～山大連合同窓会 場 所：サンピーチ・ホテル(岡山駅近く) 今年は3年に一回の連合同窓会として開催される年度に該当します。 鳳陽会会員間の交流はもとより、他に農学部、工学部、医学部の先輩後輩の卒業生との交流が図れる絶好の機会です。 皆様のご参加をお待ちしております。
福 山	日 時：令和7年8月または9月開催予定 場 所：福山ニューキャッスルホテル「瀬の浦」 山口大学同窓会として開催を検討しております。
尾 道	日 時：令和7年9月開催予定 場 所：グリーンヒルホテル尾道(JR尾道駅前)

支部	日時等
三 原	日 時：令和7年8月開催予定 連絡先：支部長 宮本章弘(学31) TEL：090-4690-0237
松 江	日 時：令和7年7月開催予定
宇部・山陽小野田	日 時：令和7年7月5日(土) 12:00～14:00 場 所：国際ホテル宇部
山 口	日 時：令和7年6月6日(金) 19:00～ 場 所：防長苑(山口市湯田温泉)
香 川	日 時：令和7年6月7日(土)18:00～(予定) 場 所：寿司割烹 豊しま(高松市御坊町9-13) 連絡先：代表幹事 安田等(学30) TEL：090-7579-5710 出席の利便性を考慮して今年度は18時開始予定です。 皆様のご参加をお待ちしております。
北九州	日 時：令和7年6月17日(火) 18:30～ 場 所：ステーションホテル小倉 5階「飛翔の間」 連絡先：幹事長 木下義憲(学29) TEL：070-1058-2313 mail：ki0123no@gmail.com
福 岡	日 時：令和7年12月3日(水)開催予定 18:30～総会、19:00～懇親会 場 所：西鉄グランドホテル
佐 賀	日 時：令和7年6月開催予定 連絡先：代表幹事 横山宏(学31) mail：houyou-saga@leo.bbq.jp 新たに佐賀県内に転入された方は是非ご連絡をお願いいたします。
熊 本	日 時：令和7年11月上旬(土)開催予定 場 所：ホテル メルパルク熊本 (熊本市中央区水道町14-1)
大 分	日 時：令和7年5月17日(土) 18:00～ 場 所：トキハ会館 6階「グリアの間」 連絡先：支部長 佐藤隆(学30) TEL：090-8834-2984
宮 崎	日 時：令和7年9月開催予定 場 所：ホテルマリックス

下記の支部は開催済です

米 子	日 時：令和7年3月9日(日) 場 所：米子ワシントンホテル
石 見	日 時：令和7年4月19日(土) 17:30～ 場 所：竹の家(益田市駅前町19-7)

おやかん様と 惣野のおばちゃん

経済学部関係者のコンパの聖地のひとつにかつての惣野旅館があった。

二間ほどあった入口から奥へ奥へと続く細長い旅館である。その通路の途中には打ち水を打った中庭、料理する板場があり、また朝洗面用を使う水道蛇口が並んでいた。(宴会の最中、終焉には他の用途でも大活躍する場所となる(笑))

その細長い通路の突き当りが、日本間をぶち抜いて使われていた宴会場。そこには、旧ザビエル教会の塔も一緒に写された亀山時代の経済学部の学び舎の写真が掲げられていた。

2015年頃利用した際には、入り口横の大層立派な木造の布袋様が客人を出迎えてくれた。記憶では、その横に創業明治38年、もしくは39年と刻まれた銘板があった。惣野旅館は明治38年開学の山口高商以来の山口大学経済学部とともにあったのであろう。

惣野でのコンパの時のお酒提供の流儀は、ビールは



大瓶、日本酒は先ずは御燗をされた徳利が準備。しかし少し時間がたつと、薬缶を直燗されたものになる。(客である学生も嬉々として、ビールケース、日本酒の配膳の手伝いをしていた) 薬缶で直燗をされたものを「おやかん(薬缶様)」と呼ぶことにしよう。「おやかん様」の登場だ!

時代にもよると思うが、80年代初頭は1500円ほどで個人ごとの膳。格安かつ学生支援もあったのだろうか、ひとかどの宴席用の膳となっていた。惣野のおばちゃん実はこの方が女将が腕を振るって作ってくれた膳だ。それに酒代が別途、ほぼ飲み放題の固定であった記憶がある。

しかし、惣野のおばちゃんの腕の見せ所はここではない。勢いもあり、且つ、まだまだ旧制二期校の雰囲気かブンブンと匂う学生は日本酒をこよなく愛す。言い方を変えると、浴びるように飲む学生もいる時代である。そうすると少し上品な徳利などでは宴席にお酒が間に合わない。これを捌くのは惣野のおばちゃんである。

無理くり、ちよつと経済学的に言えば、学生側の過剰な需要に対し供給側が徳利などで提供をしていては、供給不足が起こつてしまう。これをハイパーインフレと言ったかどうかは知らないが、これを一挙に沈静化する凄腕が惣野の直伝の直燗「おやかん様」だ。

しかし、少し熱燗のおやかん様は扱いが大切である。いくら呑み助でも直呑みをするとかの中は大やけどだ。「お流れ」を頂戴する方もお猪口などと言う小さな器量、また人間としてもその器量では駄目だ。先ずは湯飲み茶碗、もしくはビール用のグラス。そして、宴会部長を兼ねることの多かった武闘派の猛者となる

とどんぶり"を用意して受ける。器としても、人間としての器量としても違うのである。

最後の惣野のおばちゃんの捌きは、酔っている学生に喝を入れることと周りの学生に介抱をお願いすることだ。酔っている学生には「あんたら、しっかりしんさいよ!」、周りの学生には「あんたらが最後まで面倒見てあげんとおえんよつ」と。

後に鳳陽会の会員を構成することとなる経済学部の卒業生、教官、関係者の多くは、夜の中河原で、「おやかん様」と惣野のおばちゃんとに間違いなく育てられたのである。

(蛇足)

酒の話は、昨今は「アルハラ」などの言葉もある時代だ。その光景は、今は昔である。40年以前の話として流してもらえればよい。しかし、惣野のおばちゃんの言葉は生き続ける。50歳過ぎにゼミの同期会を開催した時も、武闘派の猛者は、学生時代と変わらざとんぶり酒を呑み干してくれた。

NK生 (学32)

住所・氏名等、変更された場合は お知らせください

住所・勤務先など変更がございましたら、事務局までご連絡ください。

連絡方法は下記の通りです。よろしく願いいたします。

TEL & FAX : 083-924-4361

Mail : houyou99@crocus.ocn.ne.jp

ホームページ (<http://www.houyou.or.jp/>)からの変更手続きも可能です。

是非ご活用ください。



鳳陽会

検索



投稿 歓迎



当会では会員の皆さまからのご投稿を心よりお待ちしております。同窓会、ゼミ、クラブのOB・OG会、学生時代の思い出、催しのご案内等何でも結構です。投稿はメール、郵便で受付ております。詳しくは事務局までお問い合わせください。

★9月15日号……(7月20日まで)

★1月15日号……(11月20日まで)

▽随感随想=1000字程度

▽ひろば=600字程度

▽本の紹介=300字程度

▽支部・同期会だより=600字程度

詩、短歌、俳句、写真など、
皆さまの作品も大歓迎です。

学学学学学学学学★
71 71 70 70 70 22 13 大学の部
藤後吉谷太伊門齊
井藤光崎田藤田藤
美幸奈日有瑞順正
帆恵菜向亮希一義

住所不明者
会報が返送されます。
住所をご存知の方はお
知らせ下さい。

学学学学学学学学学学★
72 66 64 64 54 52 43 35 34 29 8 大学の部
小橋窪安森山口山口鶴渡立河藤
鳥本井平谷口口田部川野山
真夏耕太郎薫俊範子親廉元祐
李希耕郎薫俊子親弘祥士清

住所変更

動
静

大学29期(昭和56年卒業)のみなさまへ ～北海道同窓会のお誘い～

○開催日時：令和7年9月12日(金)18:00～

○場 所：千歳市内

【主なスケジュール】

9月12日(金)ゴルフ(札幌国際CC予定)、または観光、自由行動

9月12日(金)18時～懇親会(出席同窓生全員集合)

9月13日(土)ゴルフ(恵庭CC予定)または観光、自由行動

ホテル、ゴルフ場は手配します。観光コースはいくつか検討中です。

この催しを来年の卒業45周年同窓会に繋げていきたいと思っております。お一人だけではなく、ご家族でおいでいただくことも大歓迎です。

○連絡先：羽根彰(✉ahane.1810196@outlook.jp)

または鳳陽会事務局まで

★大学の部
吉田 勝(大学10) 6・8・16
堤 好則(大学9) 6・11・4
石井 欣也(大学2) 5・11・13
富田 和人(大学1) 6・10・2
尾方 正明(経専44) 6・11・23
久保田 稲男(高商38) 7・1・5
★高商経専の部

謹んでお悔み
申し上げます。

★特別会員
平中 貫一(山口大学名誉教授) 7・3・27
西尾 英樹(大学22) 7・2・21
石田 方志(大学20) 6・8・5
田尾 実(大学17) 7・3・7
日高 三洋(大学15) | | |
上田 育三(大学12) 6・12・30
元永 省司(大学11) 6・9・|
嶋崎 溥(大学10) | | |

支部援助費を復活します

鳳陽会各支部の活動を支援するとともに、年会費及び賛助会費の納入を促進し、鳳陽会活動の活性化を図るため、平成28年度(2016年度)をもって終了していた支部援助費を次のとおり復活します。

支部の役員を始め、会員の皆様には、年会費及び賛助会費の納入促進への積極的な取組をよろしく願います。

□ 支部援助費の額

会員が年会費又は賛助会費を納入した場合、それぞれの会費の30%に相当する支部援助費を当該会員が所属する支部に支給する。

□ 対象となる会費

令和7年4月1日(火)～令和8年3月31日(火)の1年の間に納入のあった年会費及び賛助会費を支部援助費の支給額算定の対象とし、令和8年4月に各支部に支部援助費を支給する(清算補助)。

第95回 通常総会の決議事項及び報告事項

決議事項

Ⅱ 貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

第1号議案 令和6年度決算

Ⅰ 正味財産増減計算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差 異
I 一般正味財産増減の部			
Ⅰ 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	102,524	2,264,800	△ 2,162,276
受取入会金	5,480,000	6,520,000	△ 1,040,000
受取会費	2,369,000	2,565,000	△ 196,000
受取寄付金	1,728,659	786,574	942,085
受取広告料	100,000	100,000	0
受取利息	78,973	7,875	71,098
雑収入・その他	4,251,170	4,936,700	△ 685,530
経常収益計	14,110,326	17,180,949	△ 3,070,623
(2) 経常費用			
① 事業費	14,981,820	14,700,121	281,699
給料手当	3,295,716	3,289,770	5,946
福利厚生費	383,965	507,922	△ 123,957
教育援助費	4,663,906	5,409,040	△ 745,134
情報交流費	725,140	687,250	37,890
減価償却費	493,574	493,574	0
通信運搬費	1,320,862	1,342,033	△ 21,171
消耗品費	57,195	71,648	△ 14,453
「鳳陽」刊行費	1,584,080	1,485,491	98,589
同窓会事業費	2,226,740	1,201,779	1,024,961
光熱水料費	230,642	211,614	19,028
② 管理費	4,498,999	4,834,800	△ 335,801
給料手当	1,426,484	1,426,230	254
福利厚生費	164,559	217,676	△ 53,117
会議費	69,044	71,780	△ 2,736
旅費交通費	527,860	557,508	△ 29,648
通信運搬費	420,150	428,078	△ 7,928
減価償却費	211,529	211,530	△ 1
消耗品費	49,209	53,690	△ 4,481
消耗品什器備品費	76,659	76,220	439
修繕費	126,500	0	126,500
光熱水料費	98,846	90,690	8,156
賃借料	667,407	732,639	△ 65,232
租税公課	309,980	592,426	△ 282,446
雑費	350,772	376,333	△ 25,561
経常費用計	19,480,819	19,534,921	△ 54,102
当期経常増減額	△ 5,370,493	△ 2,353,972	△ 3,016,521
Ⅱ 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金戻入	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,370,493	△ 2,353,972	△ 3,016,521
一般正味財産期首残高	41,749,403	44,103,375	△ 2,353,972
一般正味財産期末残高	36,378,910	41,749,403	△ 5,370,493
(うち特定資産への充当額)	36,378,910	41,512,329	△ 5,133,419
Ⅲ 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減高	△ 4,230,000	△ 4,890,000	660,000
指定正味財産期首残高	149,410,000	154,300,000	△ 4,890,000
指定正味財産期末残高	145,180,000	149,410,000	△ 4,230,000
(うち特定資産への充当額)	127,179,772	121,300,000	5,879,772
Ⅳ 正味財産期末残高	181,558,910	191,159,403	△ 9,600,493

注) 上記正味財産増減計算書は、平成20年会計基準で作成

科 目	当年度末	前年度末	増 減
I 資産の部			
Ⅰ 流動資産			
現金・預金	18,327,737	28,498,602	△ 10,170,865
未収金		0	
流動資産合計	18,327,737	28,498,602	△ 10,170,865
Ⅱ 固定資産			
(1) 特定資産			
前受入会金引当資産	29,600,000	29,460,000	140,000
記念基金引当資産	117,541,250	117,500,000	41,250
建設基金引当資産	1,800,000	1,800,000	0
教育研究積立金引当資産	2,000,000	2,000,000	0
減価償却引当資産	42,217,432	41,512,329	705,103
特定資産合計	193,158,682	192,272,329	886,353
(2) その他の固定資産			
建物	3,869,066	4,537,997	△ 668,931
建物付属設備	1	1	0
構築物	118,273	134,905	△ 16,632
什器備品	405,316	424,856	△ 19,540
出資金	30,000	30,000	0
投資有価証券	0	0	0
その他の固定資産合計	4,422,656	5,127,759	△ 705,103
固定資産計	197,581,338	197,400,088	181,250
資産合計	215,909,075	225,898,690	△ 9,989,615
Ⅲ 負債の部			
Ⅰ 流動負債			
預り金	10,230	3,720	6,510
未払金	79,935	195,567	△ 115,632
前受金	4,660,000	5,080,000	△ 420,000
流動負債合計	4,750,165	5,279,287	△ 529,122
Ⅱ 固定負債			
前受入会金	29,600,000	29,460,000	140,000
退職給付引当金	0	0	0
固定負債合計	29,600,000	29,460,000	140,000
負債合計	34,350,165	34,739,287	△ 389,122
Ⅳ 正味財産の部			
Ⅰ 指定正味財産	145,180,000	149,410,000	△ 4,230,000
(うち特定資産への充当額)	127,179,772	121,300,000	5,879,772
Ⅱ 一般正味財産	36,378,910	41,749,403	△ 5,370,493
(うち特定資産への充当額)	36,378,910	41,512,329	△ 5,133,419
正味財産合計	181,558,910	191,159,403	△ 9,600,493
負債及び正味財産合計	215,909,075	225,898,690	△ 9,989,615

註) 上記貸借対照表は、平成20年会計基準で作成

Ⅲ 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券：償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
法人税法に規定する旧定額法及び定額法によっている。
- (3) リース取引の処理方法
通常の賃貸借取引に係る方法によっている。

2 会計方針の変更

財務諸表の様式等、新公益法人会計基準（平成20年基準）に準拠している。

3 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
前受入会金引当資産	29,460,000	5,620,000	5,480,000	29,600,000
記念基金引当資産	117,500,000	41,250	0	117,541,250
建設基金引当資産	1,800,000	0	0	1,800,000
教育研究積立金引当資産	2,000,000	0	0	2,000,000
減価償却引当資産	41,512,329	705,103	0	42,217,432
合 計	192,272,329	6,366,353	5,480,000	193,158,682

4 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正 味財産からの 充当額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
前受入金引当資産	29,600,000	0	0	29,600,000
記念基金引当資産	117,541,250	117,541,250	0	0
建設基金引当資産	1,800,000	1,800,000	0	0
教育研究積立金引当資産	2,000,000	2,000,000	0	0
減価償却引当資産	42,217,432	5,838,522	36,378,910	0
合 計	193,158,682	127,179,772	36,378,910	29,600,000

5 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

項 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	37,162,833	33,293,767	3,869,066
建物附属設備	500,000	499,999	1
構 築 物	1,868,000	1,749,727	118,273
什 器 備 品	7,079,255	6,673,940	405,315
合 計	46,610,088	42,217,433	4,392,655

7 保証債務等の偶発債務

保証債務等の偶発債務はない。

8 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
第462回利付国庫債券(2年)	50,041,250	50,030,000	△ 11,250
合 計	50,041,250	50,030,000	△ 11,250

9 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引はない。

10 重要な後発事象

重要な後発事象はない。

Ⅳ 監 査 報 告 書

私たち監事は、令和7年4月8日に鳳陽会事務局において、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度における一般社団法人鳳陽会の業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施状況について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(平成18年法律第48号)の第99条、第124条及び一般社団法人鳳陽会の定款第23条に基づき監査を行いました。

その方法及び結果について、下記のとおり報告します。

1 監査の方法及び内容

- (1) 各監事は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、事務局において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。
- (2) 各監事は、事業報告書並びに金銭出納帳、総勘定元帳、預金通帳、各種証憑書類の調査を行い、貸借対照表、正味財産増減計算書等の計算書類及びこれらの付属明細書及び財産目録の監査を実施しました。
- (3) 各監事は、公益目的支出計画実施報告書について、事業報告、財務諸表及び関係書類を閲覧し、計画の実施状況の監査を実施しました。

2 監査結果

- (1) 事業報告は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 計算書類は、会計帳簿又はこれに関する資料の記載金額と一致し、当法人の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 公益目的支出計画実施報告書は、事業報告、計算書類の記載内容と一致し、法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示していると認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

以 上

令和7年 4月8日

監事 山 根 信 之 ㊤

監事 重 村 和 雄 ㊤

- 3 -

第2号議案 役員の選任

理事 候補者(敬称略)

氏 名	卒 期	支 部	備 考
古 賀 正 彦	学 30	北九州	新 任

報告事項

I 令和6年度事業報告

1 教育支援事業(母校、地域、在学生への支援)

- (1) 鳳陽会寄附講座の開講(経済学部特殊講義I)

山口大学後期日程の木曜日(令和6年10月3日(木)～令和7年1月30日(木)の間)、「仕事」をテーマに計14回開講した。担当講師は、鳳陽会会員計7人(講師の担当回数は3回、2回または1回)が務め、受講生は13人。

- (2) 経済学部との連携による経済学部生の就職活動に対する支援

経済学部就職アドバイザー3人が、経済学部生の就職相談へ対応した。毎週、火曜日、木曜日及び金曜日の週3回、13:30～15:30の2時間、経済学部の就職相談室で就職活動に関する相談を実施した。また、模擬グループワークや、県内企業の人事担当者と経済学部就職アドバイザーによる集団模擬面接を実施した。

- (3) 経済学部職業会計人コースに対する支援及び助成

- ① 職業会計人を目指す職業会計人コースの経済学部生11人に對し、柳上奨学金(給付型奨学金)計3,630千円を給付した。
- ② 公認会計士試験合格者4人の表彰(スンマ賞)、副賞への助成を実施した。

- (4) 経済学部における国際交流及びグローバル人材育成に対する支援及び助成

- ① 留学生の参加を得て実施する実践英会話講座開講に要する経費の一部を支援した。
- ② フィリピンへの短期海外語学留学に参加する学生に対する支援を行った。

- (5) 経済学部の学年別・学科別成績優秀者の表彰、副賞の助成、上田鳳陽賞の授与、副賞の助成、経済学部卒業生(成績優秀者、課外活動)の表彰、副賞への助成等を実施した。

2 交流事業

- (1) 経済学部卒業生への記念品等の配付

卒業時、卒業生(新会員)に鳳陽会紹介リーフレット「花なき山の・・・」及び記念品(鳳陽会ロゴ入りシャープペンシル)、会報「鳳陽」等を封筒に入れて配付し、鳳陽会各支部活動への参加、卒業後の住所の連絡、会費の納入を要請した。

- (2) 山口大学同窓会(各学部同窓会の連合同窓会)としての活動

鳳陽会を含む山口大学各学部の同窓会で組織する「山口大学同窓会」において、新入生を対象とした「ワンコイン朝食」実施に要する経費の一部の支援、大学祭(姫山祭、常盤祭、小串祭)、新入生歓迎フェスティバル、七夕祭等の学生企画の活動に対する支援、山口大学ホームカミングデーの山口大学との共催などの取組を展開した。

- (3) 霜仁会(山口大学医学部同窓会)、常盤工業会(山口大学工学部同窓会)の総会等へ出席し、同窓会間の交流を図った。

3 同窓会関係事業

- (1) 一般社団法人鳳陽会第94回通常総会を次のとおり開催した。また、通常総会の開催に合わせて鳳陽会支部長会議を開催し、鳳陽会の全国40支部のうち、27支部の代表者の出席を得て、各支部の抱える課題や支部活動の活性化方策等について討議を行い、討議の結果、成果は今後の鳳陽会の同窓会活動に活かしていくことを確認した。

・ 日 時 令和6年6月8日(土) 16:00～16:48

・ 場 所 〒730-0011 広島市中区基町6番78号

リーガロイヤルホテル広島 3階 「宮島」

・ 出席者 正会員411名(うち委任状提出354名)、正会員総数1,260人

- 4 -

- (2) 北海道、東北、東京、名古屋、京滋、大阪、岡山、尾道、松江、山口、防府、宇部・山陽小野田、香川、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎等の鳳陽会各支部で支部総会等が開催された。
- (3) 会員の動静管理や鳳陽会関係資料の充実
各支部との連携の下、会員の動静把握・情報整理に努めるとともに、各支部・会員へ迅速・正確なデータの提供、鳳陽会関係資料の一層の充実に努めた。

4 会報発行事業

- (1) 会報「鳳陽」を年3回編集・発行し、会員等関係者へ送付・配付した。
- 第181号（令和6年5月発行）
従来どおり、全会員（住所・実家判明者：12,661名）へ送付
 - 第182号（令和6年9月発行）及び第183号（令和7年1月発行）
鳳陽会の厳しい財政状況を踏まえ、正会員（年会費納入会員及び賛助会費納入会員）及び最近の卒業生2,130名（第182号）、2,116名（第183号）のみに送付。
 - その他、経済学部（現・旧）、経済学部生及び山口大学学長、副学長や関係部課（総務部、広報課等）、山口大学他学部同窓会及び他大学（旧高等商業学校）同窓会等へ送付。

5 本年度の重点施策（再掲）

- 鳳陽会の組織運営体制を強化し、鳳陽会の同窓会活動の活性化を図り、次の世代に同窓会活動を繋いでいくために、アンケート結果に基づく具体策として、次の施策を展開した。
- (1) 組織運営体制の強化
各支部との連携の下、支部の会員名簿を整理し、会員の動静把握に努める等、鳳陽会の組織運営体制の強化に努めた。
- (2) 鳳陽会活動の活性化
鳳陽会の新しいホームページを令和2年12月から運用開始するとともに、令和4年5月には、会員の誰からも寄付金を受け入れることができる新たな払込取扱票を作成、配付し、引き続き、鳳陽会活動の活性化に向けた「アンケート結果に基づく具体策への取組」に掲げた各具体策への取組を進めた。

Ⅱ 公益目的支出計画実施報告

- 令和6年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)の概要
- 1 公益目的財産額 177,256,123円
- 2 当該事業年度の公益目的収支差額(1)+(2)-(3) 49,413,816円
- (1) 前事業年度末日の公益目的収支差額 45,969,176円
- (2) 当該事業年度末日の公益目的支出の額 3,444,640円
- (3) 当該事業年度の実施事業収入の額 0円
- 3 当該事業年度末日の公益目的財産残額 127,842,307円
- 4 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由
寄附講座に要する講師の旅費等経費が見込みを下回ったこと。また、日中学術交流等助成事業への寄附（特定寄附）がなくなり、講演会、シンポジウムの開催実績もなかったため、実績額は公益目的支出計画額を約1,059千円下回った。なお、令和7年度には、寄附講座の内容を全面的に見直して開講することから、公益目的支出が増える見込みである。今後とも、引き続き、公益目的支出計画に基づき、経済学部に対する支援等を行うこととしており、公益目的支出計画は完了予定事業年度である令和34年度までには完了できる見込みである。

- 公益目的支出計画の状況
- 1 公益目的支出計画の完了事業年度の末日(計画上の完了見込み) 令和35年3月31日

2 公益目的財産の状況 (単位：円)

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計 画	実 績	計 画	実 績	計 画
公益目的財産額	177,256,123	177,256,123	177,256,123	177,256,123	177,256,123
公益目的収支差額	49,537,400	45,969,176	54,040,800	49,413,816	58,544,200
公益目的支出の額	4,503,400	3,594,986	4,503,400	3,444,640	4,503,400
実施事業収入の額	0	0	0	0	0
公益目的財産残額	127,718,723	131,286,947	123,215,323	127,842,307	118,711,923

- 実施事業(教育支援事業・継続事業)の状況等
- 1 事業の概要
- (1) 当該事業に係る公益目的支出の見込額 4,403,400円
- (2) 当該事業に係る実施事業収入の見込額 0円
- 2 当該事業実施年度の実施状況
- (1) 当該事業に係る公益目的支出の額 3,444,640円
- (2) 当該事業に係る実施事業収入の額 0円
- (3) ((1)-(2))の額 3,444,640円
- (4) 当該事業に係る損益計算書の費用の額 3,444,640円
- (5) 当該事業に係る損益計算書の収益の額 0円
- (6) 事業の実施状況
- ア 経済学部及び学生に対する教育支援事業
鳳陽会寄附講座の開講、職業会計人コースに対する支援・助成、就職活動に対する支援、スナマ賞、その他表彰等経済学部に対する支援
- イ 講演会、シンポジウム及び関連諸行事に対する支援及び実績実績なし。

3 実施事業資産の状況等 (単位：円)

資産の名称	前事業年度末日の帳簿価額	当該事業年度末日の帳簿価額	使用の状況
建 物	1,361,426	1,160,750	計画どおり、引き続き当該事業で使用
建物付属設備	0	0	計画どおり、引き続き当該事業で使用
構 築 物	40,452	35,460	計画どおり、引き続き当該事業で使用
什 器 備 品	127,411	121,543	計画どおり、引き続き当該事業で使用

- 特定寄附(山口大学基金に対する寄附)の実施状況
- 1 当該寄附の相手方の名称及び所在場所
- (1) 名 称 山口大学基金
- (2) 所在場所 山口県山口市吉田1677-1
- 2 寄附の実施状況等
実績なし

Ⅲ 令和7年度事業計画

- 1 教育支援事業(母校、地域、在学生への支援)
- (1) 寄附講座を令和7年10月～令和8年1月の間で開講する。学生が企業との連携の下、実際に企業の課題解決に向けた事業アイデアを考案し、提案する「実践的な学びの場」を提供する。産学連携により地域の課題解決に挑む「産学連携、事業化推進プロジェクト」を展開する。
- (2) 経済学部との連携による学生の就職活動に対する支援
就職アドバイザー(鳳陽会会員1人)による就職に関する個別相談を実施する。また、企業人事担当者及び就職アドバイザーによる模擬面接を実施する。
- (3) 職業会計人を目指す経済学部生に対する支援及び助成
- ① 職業会計人を目指す経済学部生に対して、柳上奨学金(給付型奨学金)を給付する。
- ② 公認会計士試験、税理士試験合格者の表彰(スナマ賞)、副賞への助成を行う。

- (4) 経済学部における国際交流及びグローバル人材育成に対する支援及び助成
- ① 留学生参加の実践英会話講座開講に要する経費の一部を助成する。
- ② 短期海外語学留学参加に要する経費の一部を助成する。
- (5) 経済学部の各学年、各学科の成績優秀者の表彰、副賞の授与、上田鳳陽賞、副賞の授与、卒業生の成績優秀者、課外活動等で顕著な活躍をした経済学部生の表彰、副賞の授与に対して支援を行う。
- (6) 教育、ゼミ活動、研究充実のための支援、助成及び講演会等の後援
- (7) 経済学部学生ゼミナール連合協議会企画・主催事業に対する支援

2 交流事業

- (1) 山口大学同窓会事業の実施
新入生を対象としたワンコイン朝食、ホームカミングデーの山口大学との共催、学生が企画する大学祭(姫山祭、常盤祭、小串祭)、新入生歓迎フェスティバル、七夕祭等に対する支援を行う。
- (2) 山口大学他学部同窓会及び他大学同窓会との交流の促進
- (3) 卒業時に経済学部卒業生(新規会員)へ鳳陽会紹介リーフレット「花なき山の…」を配付し、記念品(シャープペンシル)を贈呈する。
- (4) 経済学部新入生の「保護者懇談会」、学年別オリエンテーション等で「鳳陽会」の組織・活動内容等を具体的に紹介し、同窓会活動に対する理解を促進する。
- (5) 鳳陽会本部のホームページを引き続き、管理・運営する。

3 同窓会関係事業

- (1) 新卒業生とともに既卒業生の動静の把握、会員名簿の整理・充実に努め、会員動静の一層の把握に努める。
- (2) 各支部の鳳陽会ホームページの積極的な活用を促進する。
- (3) 各支部との連携の下、会員の動静の管理、鳳陽会関係資料の一層の充実や、会員データの迅速な検索、抽出及び提供に努める。(会員限定)
- (4) 年会費に加え、賛助会費、寄付金が納入できる「払込通知票」を配付して、引き続き、会員からの年会費・賛助会費の納入を促進するとともに、寄付金を募る。
- (5) 支部活動を支援するとともに、会費の納入を促進するため、支部援助費を復活する。支部会員の年会費及び賛助会費の納入額に応じて、当該支部に対して支部援助費を支給することとし、令和7年度の年会費及び賛助会費の納入額を対象に翌年度始めに清算を行う。
- (6) 一般社団法人鳳陽会第95回通常総会を次のとおり開催する。
令和7年(2025年)5月24日(土) 午後4時～
〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目2番25号
アルカディア市ヶ谷(私学会館)

4 会報発行事業

- 内容の充実を図るとともに、会員及び学生からも親しまれる、読みやすい会報「鳳陽」を目指して、従前どおり、年3回発行、編集する。
- (1) 第184号(5月発行)は、従来どおり海外会員を含む全会員に送付する。
- (2) 第185号(9月発行)・第186号(1月発行)は、当会の財政状況を踏まえ、正会員(年会費納入会員及び賛助会費納入会員)のみに送付する。
- (3) 経済学部の現・旧教官(特別会員)や経済学部在学学生、大学本部、他学部同窓会、他大学同窓会等に配付・送付する。

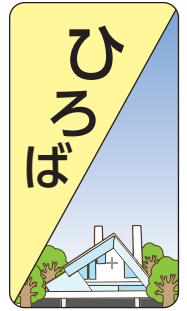
Ⅳ 令和7年度収支予算

(単位:円)

科 目	当年度予算	前年度予算	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	400,000	1,450,000	△ 1,050,000
受取入会金	5,800,000	6,800,000	△ 1,000,000
受取会費	2,350,000	2,700,000	△ 350,000
受取寄付金	500,000	500,000	0
受取広告料	100,000	100,000	0
受取利息	122,000	3,000	119,000
雑収入・その他	1,708,000	4,607,000	△ 2,899,000
経常収益合計	10,980,000	16,160,000	△ 5,180,000
(2) 経常費用			
① 事業費	15,387,000	16,937,000	△ 1,550,000
給料手当	3,290,000	3,290,000	0
福利厚生費	428,000	509,000	△ 81,000
教育援助費	5,720,000	6,140,000	△ 420,000
情報交流費	770,000	770,000	0
減価償却費	494,000	494,000	0
通信運搬費	1,620,000	1,400,000	220,000
消耗品費	58,000	63,000	△ 5,000
「鳳陽」刊行費	1,810,000	1,710,000	100,000
同窓会事業費	970,000	2,340,000	△ 1,370,000
光熱水料費	227,000	221,000	6,000
② 管理費	5,360,000	4,907,000	453,000
給料手当	1,426,000	1,426,000	0
福利厚生費	110,000	218,000	△ 108,000
会議費	160,000	140,000	20,000
旅費交通費	1,140,000	600,000	540,000
通信運搬費	430,000	440,000	△ 10,000
減価償却費	211,000	211,000	0
消耗品費	45,000	57,000	△ 12,000
消耗品什器備品費	80,000	80,000	0
修繕費	40,000	40,000	0
光熱水料費	98,000	95,000	3,000
賃借料	810,000	640,000	170,000
租税公課	360,000	510,000	△ 150,000
雑費	450,000	450,000	0
経常費用合計	20,747,000	21,844,000	△ 1,097,000
当期経常増減額	△ 9,767,000	△ 5,684,000	△ 4,083,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用合計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,767,000	△ 5,684,000	△ 4,083,000
一般正味財産期首残高	36,062,488	41,746,488	△ 5,684,000
一般正味財産期末残高	26,295,488	36,062,488	△ 9,767,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減高	△ 4,600,000	△ 4,600,000	0
指定正味財産期首残高	144,800,000	149,400,000	△ 4,600,000
指定正味財産期末残高	140,200,000	144,800,000	△ 4,600,000
III 正味財産期末残高	166,495,488	180,862,488	△ 14,367,000

注)上記収支予算(案)は、平成20年会計基準の損益ベースで作成

「鳳陽会」は、皆様方の年会費を基本にして運営しています。



あれから40年

毎年この季節になると思
い出すのが1985年(昭和
60年)3月の日々。

福岡の県立高校の卒業式
は3月1日、国公立大学の
2次試験が3月5日だった
と記憶している。

卒業式で交わされた会話は、
「バイト何するの?」や
「予備校どこにするの?」など、
女神が微笑んだ者とそうでない者の
間で天国と地獄の様な差があった。
そして国公立の2次試験をこれ
から受ける者は、卒業よりも2次試験
の事で頭がいっぱいであった。

(余談であるが、当時の福岡の予備校は、親不孝通りの名付け親、九州英数学館、水城学園の双壁に、黒崎の北予備、そして名古屋から河合塾が九州進出して間もない頃であった。)

私は、東京の私大2校に不合格となり、浪人を免れる最後のチャンスは、国立山口大学のみ。丙午の影響で倍率が低いので、何としても現役合格したかった。

それにも増して、どうしても山口大学に行きたかったのは、当時付き合っていた彼女が早々に山口の短大に推薦合格していたため、学問とは全く関係のない不純な動機であった。

試験前日は、湯田温泉の常盤に泊まり、大学通りを歩いて下見に行った。湯田から平川までの道のりは長く、どんより曇って北風が強かった(いわゆる鳳凰下ろし)。

その日の夜は、緊張で一睡もできなかったが、朝風呂に入ったおかげで、頭が冴えて2次試験に臨めた。帰り道に合否電報を申し込んで、また大学通りを湯田温泉駅まで歩いた。一両編成の山口線は乗り切れないほどの受験生で異常に混んでいたことを鮮明に覚えている。

合格発表までの10日間、地元と同級生とほぼ毎日飲み会。当時タコハイ(耐ハイ)が流行しており、松田聖子「Sweet Memories」のCMソングがテレビで流れていた。まだ、未成年ではあったが、この時代は地元の居酒屋でも友人宅でも誰からも咎められる事もなく、堂々とお酒が飲めた。高校を卒業すれば、みなし成年とい



今も現存する私の下宿、築50年越

う不文律があったのだろう。合格してからの2週間は、下宿探し、一人暮らしの準備、そして引越しと福岡と山口を数回往復。本当に目まぐるしい2週間であった。あれから40年、「もう一度戻れるとすればいつの時代に帰りたい?」と聞かれたら昭和60年3月と間違いなく答えるであろう。

そこには、受験からの解放感、親元から離れ一人暮らしをする高揚感、ひとかけらの不安もなく期待に満ち溢れていた。そして少し生暖かい春の香がする3月の風が吹いていた。

ちなみに私を山口大学に導いてくれた当時の彼女とは入学して間もなく別れてしまった。

大人の階段を登る18歳の春の出来事を今年も思い出しながら、今宵はハイボールを飲んでいきます。

(学37 上野 啓)

本号の内容

通常総会	1~2
学園だより	3~6
退職に際して	7
支部だより	8
支部総会開催一覧	9
おやかん様と	
惣野のおばちゃん	10
動静	11
通常総会資料	12~15
ひろば	16

事務局から

今号の2頁目でもご案内のとおり、例年6月の第3土曜日開催の通常総会を、今年の第95回通常総会を大幅に前倒しして令和7年5月24日(土)に開催することとなりました。総会を欠席される場合は委任状の提出をお願いしております。総会の定数四分の一を充足するため、委任状は必ずご返送ください。また、皆様のご協力をお願い申し上げます。

(Y)

山口銀行はスマホ1つで
いつでも、どこでも、カンタンに

口座開設も

残高照会も

お振込も

お店に行かなくても大丈夫。便利に使えるアプリです。

ポータルアプリ



ダウンロードは
こちらから



この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg



山口銀行

お問い合わせはヘルプデスクへ

ヘルプデスク



0120-307-969